



# 令和5年度 環境局の運営方針

- 1 未来につなぐ脱炭素のまちづくり…………… 1
- 2 資源を活かす循環のまちづくり…………… 3
- 3 市民がふれあう自然共生のまちづくり…………… 4



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

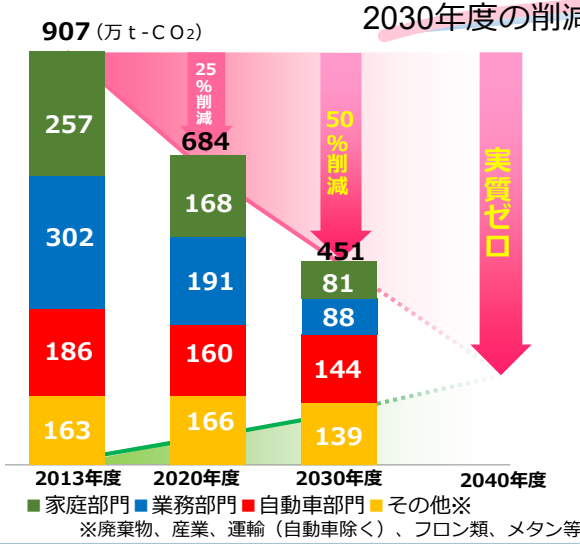
2030年に向けた17の国際目標  
「誰一人取り残さない持続可能な社会」の  
実現を目指しています。

# 未来につなぐ脱炭素のまちづくり



脱炭素社会の実現に向け、令和4年8月に改定した「地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネルギー化の推進、再生可能エネルギーの利用拡大、自動車部門の脱炭素化推進などに取り組みます。

## 2040年度 脱炭素社会へのチャレンジ



### 【重点分野】



市の独自施策で後押し

- ✓ 建築物や事業所の脱炭素化推進
- ✓ 自動車部門の脱炭素化推進
- ✓ 脱炭素型ライフスタイルの推進 など

## 建築物や事業所の省エネ性能の向上、再エネ導入の推進

### ■ 脱炭素建築物誘導支援事業

新規  $\Delta CO_2$  7,960 ト/年

ビルのZEB化（Ready以上、新築・改修）、集合住宅のZEH-M化（新築）に係る設計費用を補助

補助額

（延床面積）

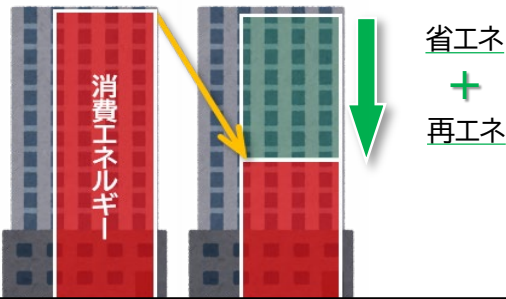
ZEB	2,000㎡未満	150万円
ZEB	2,000㎡以上	300万円
ZEH-M	2,000㎡未満	60万円
ZEH-M	2,000㎡以上	100万円

※ いずれも延床面積300㎡以上

補助枠

5,500万円

基準建築物 ZEB・ZEH-M



### ■ 事業所の省エネ設備導入支援事業

新規  $\Delta CO_2$  268 ト/年

省エネ設備（照明・空調）の更新費用を補助

補助額（上限）

機器費の1/3（100万円）

補助枠

4,000万円



### ■ 事業所のPPAによる再エネ設備導入支援事業

新規  $\Delta CO_2$  232 ト/年

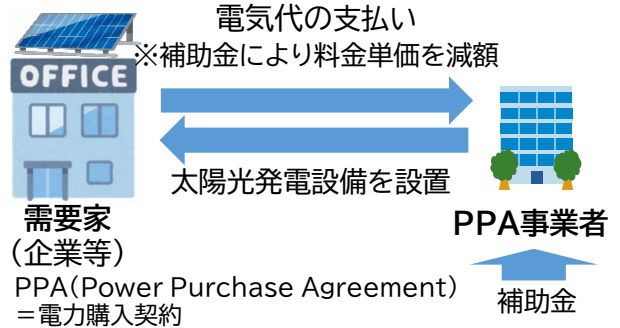
PPAで太陽光発電設備を設置する際の設備費用を補助

補助額（上限）

2万円/kW（40万円）

補助枠

800万円



## ■次世代自動車の普及に向けた取組み

### ●電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助


補助額 

EV 10万円 PHEV 5万円 FCV 60万円  
(電気自動車) (プラグインハイブリッド自動車) (燃料電池自動車)

さらに!!!

自宅の再生可能エネルギー由来電力で充電を行うEVは補助額に**5万円加算!!**

**新規**

補助枠 

2,875万円 ▶ **拡充** 3,375万円

【関連事業】

法人を対象としたFCV購入補助 (10台分 600万円)



### ●FCパッカー車の導入

**新規**


家庭ごみ収集にFCパッカー車(1台)を導入

【関連事業】FC給食配送車(2台)の導入、FC救急車(1台)の実証

△CO<sub>2</sub> 16 ト/年



### ●充電設備設置補助

補助額 

急速充電 上限100万円/基

普通充電 上限100万円/施設

※集合住宅向け(1基あたり20万円)

**新規**

補助枠 

急速・普通充電 2,000万円

### ●市有施設への急速充電設備設置

**拡充**

市有施設に急速充電設備を5箇所新設!

## 脱炭素型ライフスタイルの推進

### ■住宅用エネルギーシステムの導入補助

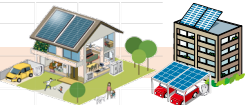
△CO<sub>2</sub> 1,239 ト/年

自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及のため、導入費用を補助

補助額(上限)

太陽光発電システム:2万円/kW (集合住宅60万円、戸建住宅10万円) **拡充**

蓄電池:40万円 V2Hシステム:20万円 他

補助枠 

2億3,250万円 ▶ **拡充** 2億6,950万円

### ■ECOチャレンジ応援事業

△CO<sub>2</sub> 212 ト/年


市民の脱炭素行動に対してポイント(交通系ICカードポイント)を付与

エコアクションメニュー **拡充**

食品ロスの削減や地産地消の推進など新規メニューを追加 **Point Point Point**

募集世帯

2,000世帯

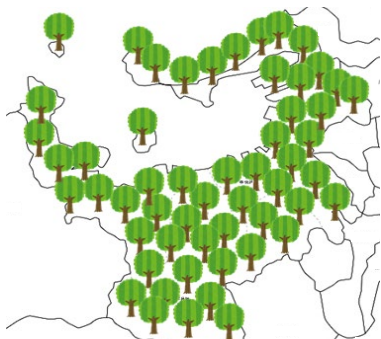
ポイント付与数 

年間上限5,000ポイント/世帯  
 さらに、省エネ家電購入に10,000ポイント/先着150世帯

## 【参考】令和5年度当初予算における市事業全体での温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)削減効果

年間約**20.1万トンのCO<sub>2</sub>の削減効果**

森林面積 **約3.9万ha** のCO<sub>2</sub>吸収量に相当  
 (福岡市域面積約3.4万haの約**1.1倍**)



### ①再生可能エネルギーの利用

- ・バイオマス発電(清掃工場、水処理センター)
- ・市有施設における再エネ由来電力の利用
- ・市有施設への太陽光発電設置 など

### ②省エネルギーの推進

- ・脱炭素建築物誘導支援
- ・市有施設の省エネ改修、照明LED化 など

### ③脱ガソリンへの転換

- ・次世代自動車の普及に向けた支援 など

### ④その他の取組み

- ・水素リーダー都市プロジェクトの推進
- ・木質化の推進 など

# 資源を活かす循環のまちづくり

「循環のまち・ふくおか推進プラン」に基づき、発生抑制と再使用の2Rに重点をおいた取組みを推進するとともに、プラスチックごみ、古紙、食品廃棄物を重点3品目と位置付け、更なるごみ減量・リサイクルの推進に取り組みます。



## プラスチックのリサイクル体制構築に向けた取組み

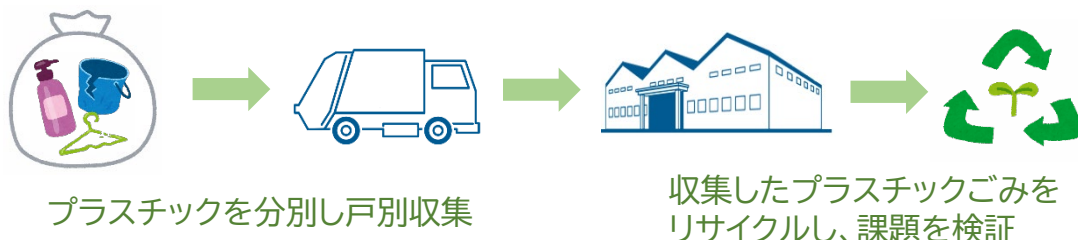
### ■プラスチックごみの分別収集導入に向けた取組み

#### プラスチック回収モデル事業

プラスチックごみの分別収集導入に向け課題を検証するため、**新規**新たに戸別収集モデル事業を実施

#### 【戸別収集モデル事業概要】

- 回収方法** モデル地区においてプラスチックごみの戸別収集を実施
- 回収品目** 全てのプラスチック(容器包装プラスチックと製品プラスチック)
- 実施期間** 3か月間



### 分別収集後のリサイクル体制の確立に向けた検討 **新規**

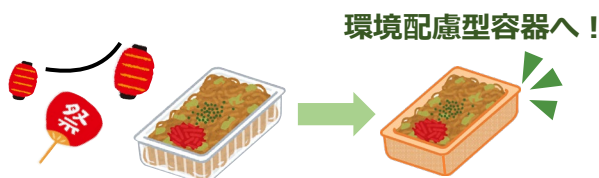
民間事業者に対して、市と連携したリサイクルを行う意向等を調査し、調査結果を踏まえ整備方針を検討

## その他プラスチックに関する取組み

### ■ワンウェイプラスチック削減の啓発

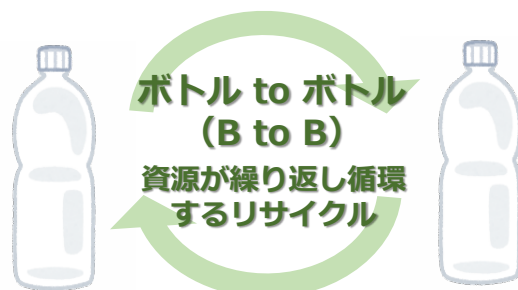
#### 地域等のイベントで環境配慮型容器を活用 **新規**

地域等のイベントにおいて環境に配慮した容器を活用し、ワンウェイプラスチック削減を啓発



### ■ボトルtoボトルリサイクルの試行実施 **拡充**

市が回収した全ての使用済みペットボトルを対象に、ボトルtoボトルリサイクルを実施



# 食品廃棄物対策の取組み

## ■家庭から出る生ごみの資源化推進

### 生ごみ堆肥化容器の購入補助 新規

補助額(上限)

生ごみ堆肥化容器 2,500円  
 電動生ごみ処理機 (乾燥式を除く) 2万円

### 生ごみ堆肥の活用 新規

- ・使いきれない生ごみ堆肥を回収し花や緑づくりの団体につなぐ
- ・作り方・使い方について講座を実施



## ■福岡エコ運動協力店特設ホームページ開設

拡充

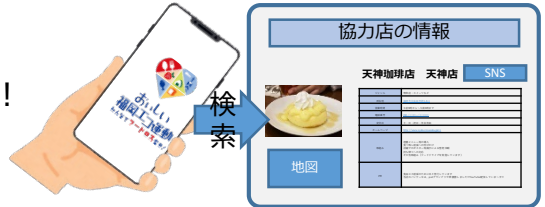
### 食品ロス削減を積極的に取組む「福岡エコ運動協力店」の特設ホームページを開設

(協力店)

HP内で店独自の取組みを直接PRすることができる!

(市民)

協力店を簡単に検索でき、「食品ロス削減」を実践



協力店をスマホやPCから簡単検索

# 古紙資源化に向けた取組み

## ■大学等と連携した雑がみ回収促進袋の配布による啓発

新規

### リサイクル可能な雑がみの認知度を向上し、古紙の資源化を推進

- ・学生主体の古紙回収活動にあわせた雑がみ回収促進袋の配布
- ・大学等での出前講座などで雑がみリサイクルを啓発



# 市民がふれあう自然共生のまちづくり



## 生物多様性ふくおか戦略の推進

### ■森の恵み体験活動

#### 「森里川海のつながり体験活動」の実施 拡充

森里川海のつながりの大切さを学び、体験する連続講座を実施。環境学習等で活用できるよう講座の様子をもとに啓発動画を制作。



生物多様性の理解が深まり、保全行動の実践につながる!

**動画制作**

- 生物多様性について知る
- 森里川海のそれぞれの役割やつながりを学ぶ
- 生物多様性を守るためにできることを知る

**啓発に活用**

学習教材等での活用